

## 地域連携推進会議 議事録

会議名	令和7年度 第1回 地域連携推進会議
開催日時	令和8年3月10日(火) 14:00時～14時40分
場 所	和みの家 リビング
参加者	利用者1名                      利用者家族(保佐人)1名 地域関係者1名              福祉知見者1名 市役所職員1名              サービス管理責任者1名 管理者1名  計7名
添付資料	① 次第      ② 施設リーフレット
記 録	サービス管理責任者 明石慶太郎
<p>資料「①次第」に沿って滞りなく進行した。</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 会議の趣旨、グループホームときわの概要説明(管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ：この会議を機会に地域の方々と関係を深められたらと思う。</li> <li>・和みの家についての説明：平成29年4月1日設立。定員4名で現在3名。 日中は3名とも生活介護を利用。職員体制は管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人4名、支援員7名の交代勤務。うち世話人1名は専属で他は他事業所と兼務。</li> <li>・職員兼務のメリットとデメリット：職員の各研修は日中活動施設での委員会ではほぼ全員が実施済み。利用者の生活介護における担当職員がおり、生活面でのサポート体制は整っている。通院も対応している。日中活動施設にいる親しい他利用者との交流が図れる。反面、日中活動施設内で感染症が流行するとグループホームを休止する状況がある。それで外部の新たな利用者受け入れが困難である。</li> <li>・地域への協力について：以前は街区役員もやらせていただいた。現在は利用者の高齢化で体力的に参加が厳しく、職員のみ可能な範囲で参加している。</li> <li>・適正なサービス提供について：現状、日課はゆとりある内容になっており、おちついた生活が送りやすい環境であると考えている。</li> </ul>	

- ・災害時の備え：有事の際は日中活動施設と連携する体制。火災時の非常通報装置やスプリンクラーは定期点検を実施。近隣への被害は最小限に留められると考えている。
- ・この会議の今後について：毎年継続。再度参加をお願いする可能性がある。
- ・会議議事録の公表：ホームページでの公表が義務。
- ・さいごに：これを機会に地域と意見交換をしていきたい。

#### 4. 施設内見学

#### 5. 感想やご意見

地域関係者：女性の笑い声が聞こえてくることがあり、楽しそうに感じる。  
時間に規則正しく行動していると感じる。

利用者家族：災害時の避難場所は地域を利用するのか。

管理者：利用しない。日中活動先の施設へ車で避難する。

利用者家族：地域避難所を利用しない旨を地域に伝えているか。

管理者：伝えていない。

福祉知見者：食事は現場で手作りか。メニューリクエストを受付けているか。

管理者：手作り。リクエストが出る事が基本なく、お任せになっている。

福祉知見者：階段や扉下の段差が気になる。

管理者：把握はしているが現状で使用している。状況に応じて対応してゆく。

市役所職員：建物や居室が綺麗。心の充実を感じる。

土日祝日の日中活動先はどうしているのか。

管理者：平日と同様の日中活動先を利用している。

市役所職員：資料にある「通所への送迎対応 無」とあるが、詳細はどうか。

管理者：現在利用中の日中活動先は職員と車で移動する。他の通所先が不可。

管理者：和みの家は現状、日中活動先の施設と強い連携をして運営されている。

メリットも多いが、大きなデメリットとして地域の方を利用者として迎え難い状態である。改善を心掛けているが、現状は維持が手一杯。

以上